



26 議 委 第 49 号
平成 26 年 9 月 12 日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

議員定数と議員報酬に関する特別委員長 菅家 幸弘



議員定数と議員報酬に関する特別委員会の中間報告について

このことについて下記により中間報告を行ないます。

記

1. 委員会開催日時
別紙 1 のとおり

2. 調査内容
別紙 1 のとおり

3. 中間報告での所見

本特別委員会では、6月1日に実施した議員研修会で江藤俊昭山梨学院大学教授が示した指摘内容をもとに調査を進めてきた。そのポイントは以下の5点。

①議員定数と議員報酬は答えのないテーマ

⇒従来は地方自治法で人口規模で決まっていたが、自治体自らの責任で決めることになった。どんな議会をめざすのか。住民に説明できる根拠が必要。

②議員定数と議員報酬は別の論理で考えるべき

⇒「そもそも定数や報酬の根拠は何か？」という問いに答えられるか。
議会の定数と報酬というのは、どういう議会を作るかがポイント。

③行政改革の論理とはまったく異なる議会改革の論理

⇒行政改革の論理は効率性重視。削減できるものは削減しましょう、という考え方。議会改革の論理というのは、議決責任をどれだけ住民福祉のために達成できるか。地域民主主義の実現が大きな目的。効率性ありきではない。

④現在の議員のためだけでなく、多くの人が将来立候補し議員活動しやすい条件を考える

⇒将来議員になる人たちが、しっかり議会活動をできるかという視点で考える

必要がある。多くの多様な住民が、将来議員活動できる環境整備を図る。

⑤住民と考える議員報酬・議員定数

⇒議会力をダウンさせないことが大切。定数や報酬は議員のためではない。議会、自治、住民福祉のために考えるべき問題。したがって、住民とともに考える。

上記のポイントをもとに、会津若松市議会、矢祭町議会への視察研修、平成25年度議員活動の実態調査を行うとともに、私たち南会津町議会が進むべき方向性の議論を重ねてきました。

江藤教授の指摘にあったように、議員定数と議員報酬を考えることは合併から9年目を迎えるわが町の自治をどのような形にしていくのかを考えることにつながります。したがって、単に数の問題として考えるのではなく、南会津町議会の現状を見つめ、目指すべき道筋を明らかにしていくことが私たち特別委員会の役割と強く認識しています。

4. 今後について

今後、以下のようにアンケート調査や公聴会、住民説明会など行います。公開性を担保し説明責任を果たしながら、住民とともにこの問題について考えていきます。

9月24日(水) 議会だより臨時号発行

アンケート対象者

①区長103名

②それ以外の町民から無作為抽出により400名

※回収率を区長100%、それ以外50%と予測し、総数300~350を標本とする。

※町内各地域の人口比率を優先し抽出する。

※前回対象者 区長、地域協議会委員、婦人会役員

合計153名⇒回答131

10月15日(水) 回答期限(予定)

10月31日(金) アンケート集計終了

11月 公聴会

住民説明会

12月 12月定例会にて報告

議員定数と議員報酬に関する特別委員会
実施経過

	月日	曜日	場所	内容
1	平成26年3月14日	金	第1会議室	委員会、調査研究の進め方について討議
2	4月10日	木	議員控室	①これまでの経緯と課題を把握、整理 ②他市町村議会の状況、実践の把握 ③論点整理し、必要な研究、調査抽出
3	6月1日	日	議場	議員研修会 山梨学院大学江藤俊昭教授講演会
4	7月2日	水	議員控室	講演会論点整理
5	7月14日	月	会津若松市役所	視察研修
6	7月25日	金	議員控室	会津若松市議会研修検証
7	7月30日	水	議員控室	【公聴会部会】 公聴会の実施方法について
8	7月30日	水	議員控室	【アンケート部会】 アンケートの実施方法について
9	8月4日	月	矢祭町役場	矢祭町議会視察研修
10	8月7日	木	議員控室	【アンケート部会】 具体的アンケート内容について
11	8月18日	月	議員控室	【アンケート部会】 ①アンケートまとめ ②議会だより臨時号について
12	8月21日	木	議員控室	①矢祭町議会視察研修検証 ②平成25年度議員活動実態把握 ③アンケート検討 ④公聴会実施について ⑤中間報告について
13	9月3日	水	議員控室	①議員定数について ②議会だより臨時号について ③中間報告について
14	9月10日	水	議員控室	①議会だより臨時号について ②中間報告について